

休日当番医・日曜当番医・休日歯科診療

休日 当番医

※症状によっては、専門外となる場合もありますので、不明な場合は、担当医療機関にお問い合わせください。

4月5日(日)	たかはしクリニック	9時~12時	平上荒川	46-1231
	山口医院	14時~17時	平字作町	24-1811
	白井外科胃腸科医院	8時30分~12時	平下平窪	25-3788
	志賀整形外科・外科	9時~12時	平字鍛冶町	23-5050
	おちあい内科・消化器科クリニック なこそ病院 せき整形外科クリニック	9時~17時	小名浜岡小名 勿来町 常磐西郷町	73-1171 65-7755 84-9905
12日(日)	たかはしクリニック	9時~12時 14時~17時	平上荒川	46-1231
	長谷川整形外科医院	8時30分~11時30分	平字五色町	25-5691
	白井外科胃腸科医院	8時30分~12時	平下平窪	25-3788
	須田医院	8時30分~12時	小島町	27-6060
	かしま病院 呉羽総合病院 いわき湯本病院	9時~17時	鹿島町下蔵持 錦町 常磐湯本町	58-8010 63-2181 42-3188
19日(日)	たかはしクリニック	9時~12時 14時~17時	平上荒川	46-1231
	山口医院	14時~17時	平字作町	24-1811
	白井外科胃腸科医院	8時30分~12時	平下平窪	25-3788
	須田医院	8時30分~12時	小島町	27-6060
	佐々木内科胃腸科 榎田病院 そえだ医院	9時~17時	小名浜南君ヶ塚町 植田町 常磐湯本町	73-0345 63-3202 68-6155
26日(日)	たかはしクリニック	9時~12時 14時~17時	平上荒川	46-1231
	坂本整形外科医院	14時~17時	平豊間	38-2830
	白井外科胃腸科医院	8時30分~12時	平下平窪	25-3788
	須田医院	8時30分~12時	小島町	27-6060
	かしむら婦人科クリニック こうじま慈愛病院 かたよせクリニック産科婦人科	9時~17時	泉玉露 錦町 常磐西郷町	56-2289 63-5141 42-4135
29日(水)	須田医院	8時30分~12時	小島町	27-6060
	石井脳神経外科眼科病院	9時~17時	小名浜林城	58-3121
	森のこどもクリニック	9時~17時	植田町	38-7227
	いわき草木台総合クリニック	9時~17時	草木台	28-1145
5月3日(日)	山口医院	9時~12時 14時~17時	平字作町	24-1811
	長谷川整形外科医院	8時30分~11時30分	平字五色町	25-5691
	磐城中央病院附属診療所	9時~17時	小名浜南君ヶ塚町	53-3511
	呉羽総合病院	9時~17時	錦町	63-2181
	おおはらこどもクリニック ときわ会常磐病院	9時~17時	東田町 常磐上湯長谷町	63-0001 43-4175
4日(月)	小名浜生協病院	9時~17時	小名浜岡小名	53-4374
	榎田病院	9時~17時	植田町	63-3202
	いわぶちクリニック	9時~17時	錦町	63-1501
	根本内科胃腸科医院	9時~17時	常磐湯本町	43-4100
5日(火)	ニュータウン腎・内科クリニック	9時~12時	中央台高久	46-0606
	かしま病院	9時~17時	鹿島町下蔵持	58-8010
	こうじま慈愛病院	9時~17時	錦町	63-5141
	矢野内科胃腸科 はたの眼科	9時~17時	東田町 常磐関船町	62-3262 42-2040
6日(水)	中村病院	9時~17時	小名浜大原	53-3141
	なこそ病院	9時~17時	勿来町	65-7755
	クリニック田畑 比佐医院	9時~17時	中岡町 常磐湯本町	63-1476 43-2313
10日(日)	たかはしクリニック	9時~12時 14時~17時	平上荒川	46-1231
	白井外科胃腸科医院	8時30分~12時	平下平窪	25-3788
	須田医院	8時30分~12時	小島町	27-6060
	志賀整形外科・外科	9時~12時	平字鍛冶町	23-5050
	高木内科医院 矢吹病院 いわき湯本病院	9時~17時	小名浜寺廻町 佐糠町 常磐湯本町	92-3435 63-1818 42-3188

県子ども救急電話相談 ☎024-521-3790または#8000 (プッシュ回線・携帯電話) 毎日 19時~翌朝8時

日曜 小児専門当番医 9時~12時

4月	5日	渡辺クリニック	平字南町	25-1170
	12日	ながい小児科	平上荒川	28-2535
	19日	若松医院	平字大町	22-3838
	26日	むらまつ小児科	常磐関船町	72-0707

※5月の当番医については、4月下旬ごろ市ホームページに公開しますので、ご覧ください。

休日 泌尿器科当番医 9時~15時

ときわ会常磐病院(常磐上湯長谷町) ☎43-4175

4月	5日、12日、19日、26日、29日
	5月 3日・4日・5日・6日、10日、17日、24日、31日

日曜 精神科当番医 10時~16時

新田目病院(平上荒川) ☎28-1222

4月	5日、12日、19日、26日
	5月 3日、10日、17日、24日、31日

日曜 眼科当番医

中央台たなか眼科(中央台高久) 9時~14時 ☎29-1722

4月	5日、12日、19日、26日
	5月 10日、17日、24日、31日

休日 歯科診療 9時~12時 13時~16時

休日救急歯科診療所 (受付終了時間15時30分)
(総合保健福祉センター内) ☎27-8620

4月	5日、12日、19日、26日、29日
	5月 3日・4日・5日・6日、10日、17日、24日、31日

※このほかにも休日に診療している医療機関がありますので、あらかじめかかりつけの医療機関などで確かめてください。

※変更となる場合がありますので、事前に当番医療機関、または消防署(☎23-0119)へお問い合わせください。市ホームページでも公開していますので、ご覧ください。

休日夜間急病診療所
(総合磐城共立病院内) ☎27-1208
平日:20時~24時 土曜日:20時~翌朝7時
日曜日:13時~24時 祝日:9時~24時

●かかりつけ医をもぎまごしよう

●「なんびく」受診せよめまごしよう

●救急車は適正に利用しよう

かかりつけ医の紹介・相談やこれまでの掲載内容は、医師会事務局へ(ホームページURL <http://www.iwaki.or.jp>)

睡眠時無呼吸症候群は、肥満や喉の形状の問題などにより、睡眠中に呼吸が何度も止まってしまふ病気です。肥満者の増加とともに非常に増えており、居眠り運転事故の原因として、ニュースなどで耳にする機会が増えています。睡眠が深くなるにつれ、舌の根元が下がって気道をふさぎ、呼吸ができなくなるため、深い睡眠ができなくなり、そのため疲れが取れず、日中の眠気や集中力の低下の原因になります。

さらに、本来休息すべき時間に窒息状態になるため、心臓・血管に大きな負担が生じ、高血圧が二倍、心筋梗塞や心不全が三倍、脳梗塞やくも膜下出血が四倍と、重大な疾患の危険性が高くなり、突然死の原因にもなります。適切に治療すれば、その危険性を下げることができ、この病気の兆候を理解し、診断と治療につな

げることが重要になります。この病気の最も重要な兆候はいびきです。いびきをかいている間の無呼吸を指摘され、診断となるケースが増えています。いびきに加え、肥満がある、顎が小さい、首が短いなどがある場合は、この病気の可能性がより高くなります。扁桃肥大が原因になることもあり、特に小児で多く見られます。寝ているにもかかわらず眠気があることも重要な兆候です。ただ、この病気の半数は、眠気が無いことも留意しておく必要があります。

さらに、難治性の高血圧の要因になっていることがあります。この場合は、睡眠時無呼吸の治療をすることにより、血圧のコントロールも良好になる場合が多いです。元気な生活を長く続けるために、これらの兆候がある方は、検査の

睡眠時無呼吸症候群

市民の健康教室



提供・問い合わせ
社いわき市医師会
☎27-7155

外科医療録 ①

日本人のがんで二番目に多い(二〇一〇年統計)大腸がんは、内視鏡的摘除と外科手術によって切除されます。内視鏡的摘除は、リンパ節転移がほとんど無く、一括切除できる大きさと部位にある早期のものが適応になります。内視鏡的摘除をした後の病理検査で、予想より進行していたものや、内視鏡的摘除の適応から外れたものは、全身麻酔下での外科手術になります。

外科手術で切除する範囲は、大腸壁内のがんの深さとリンパ節転移の広がり程度(進行度)によって、決定されます。進行度の高いものは、大腸を栄養する血管のより中枢側まで切除します。切除する大腸の長さ

大腸がんの手術

整形外科 ①

変形性膝関節症とスポーツ Q 四十代のテニスを愛好する主婦ですが、最近右膝が痛く病院で初期の変形性膝関節症と言われました。テニスは続けられますか? A 膝の変形の進行を抑えるために、テニスをやめてもよいと割り切れるなら、より膝への負担の少ないスイミングなどに趣味を替えるのがよいでしょう。

許容量が低下していることを認識しましょう。変形性膝関節症の初期でも、炎症と痛みが強い時期には、テニスは控えて治療を受け、炎症が治まり、痛みが無いか少ない場合には、膝と相談しながらテニスを楽しみましょう。プレー中やその晩、翌日に膝痛が増強するなら許容量を超えています。 サポーターも有用です。ヒアルロン酸製剤の関節注射をしながらテニスやゴルフ、登山、ダンスなどを楽しんで、若い頃に比べ、運動負荷の